

大阪音楽大学付属音楽幼稚園 2025年度 教諭自己点検結果報告

1 本年度の重点的な目標、総合的な評価結果及び今後の課題

- ①保育の充実（音楽と自然）
- ②多様な個性の認め合い
- ③言葉の育み

【結果と課題】

①保育の充実（音楽と自然）

幼稚園の特徴である音楽と自然をどのように保育に取り入れるかをいつも意識した。畑の観察、自然物を使った絵画や制作、日々の記録より朝の会話の時間の充実など、クラスや学年ごとにそれぞれ取り組むことができた。冬になると観察物が減ってしまうので、通年通して意識できるよう環境の整えを行いたいと思う。

音楽の面では、担任以外にも、非常勤保育助手や講師など音楽幼稚園ならではの保育を改めて大切にしたい。行事に向かう時期がきて、教諭間で連携をとりながら様々な鑑賞楽しむこともできた。また、課外活動の音楽教室では年少組からのレッスンもスタートし、入園から卒園まで音楽に触れる機会を増やすことを実践した。

②多様な個性の認め合い

比較的、設定保育の多い保育の中で、多様な子供たちにどう向き合うかを考えあった。「しなければならぬ」保育ではなく、それぞれがこの場所にきて楽しむことができることを考えることで教諭も固定概念を緩めることができた。保護者ともそんな様子を伝えながら歩んではいるが、共同した園生活を送りたいという願いや期待にそうすることは難しいこともあり、今後もよい連携をはかる努力をしたいと思う。

③言葉の育み

コミュニケーションが不足している現代において言葉の育みは今年度だけでなく、次年度も課題として持ち続けたいと思う。

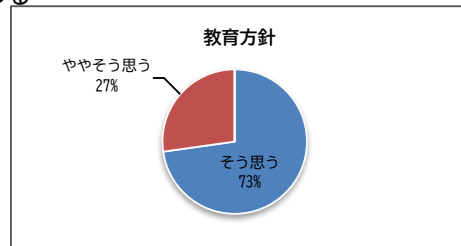
2 評価項目課題と結果

I 教育理念

課題 園の教育方針について今後もより一層理解を深める

① 教育方針

- ・園の教育方針を理解している

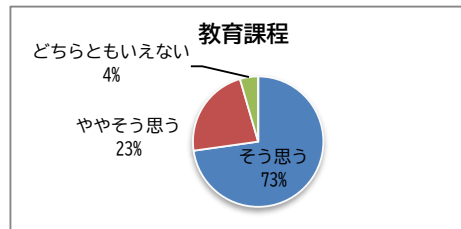


II 保育の計画性

課題 教育課程や指導計画の見直しをしつつ、全教諭が理解できるよう努力する

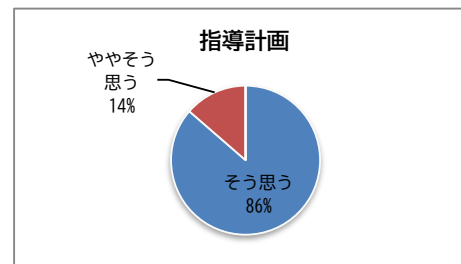
① 教育課程

- ・園の教育課程を理解している
- ・教育課程をもとに指導計画を立てている



② 指導計画

- ・指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している
- ・指導計画は常に見直しを行っている



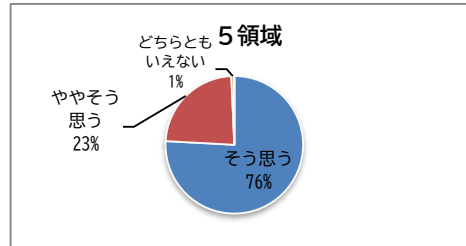
Ⅲ 保育の実践

課題 本園の特色ある保育を生かせるよう工夫する

教諭間の連携を更に密にし、記録を生かしながらひとりひとりの子どもを理解する気持ちを持つ

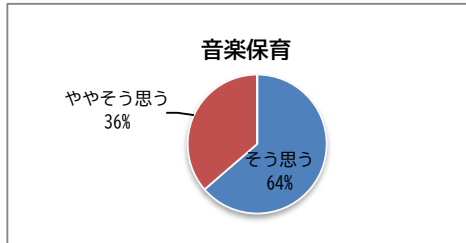
① 5領域

- 健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域についてそれぞれの保育を工夫して実践している



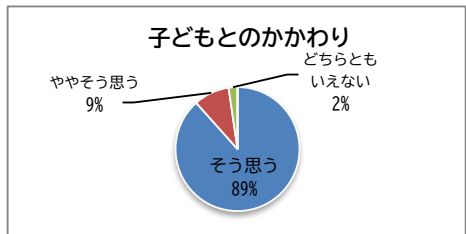
② 音楽保育

- 音や動きによる豊富な音楽体験が子どもの自信につながるよう工夫している
- 年齢に応じた活動であるだけでなく、個々の発達に応じた工夫をしている



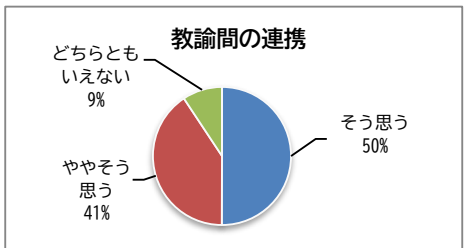
③ 子どもとのかかわり

- 子どもの心身の状況や変化を常に把握している
- 子どもの話をよく聞き、常に子どもの気持ちを受け止めれるよう気をつけている
- 子どもの発達や性格に応じたかかわり方を実践している。
- 子どもの人権を尊重して保育にあたっている



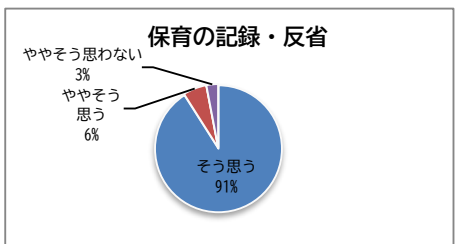
④ 教諭間の連携

- 子どもについて常に教諭同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している
- 教諭間で保育技術や保育方法の意見交換をする機会がある
- 独断で行動せず、事前相談・事後報告をしている



⑤ 保育の記録・反省

- 一人ひとりの子どもをよく観察するよう心がけている
- クラス運営や子どもの生活を毎日記録している
- 反省をふまえ、次の日の保育に生かす工夫をしている

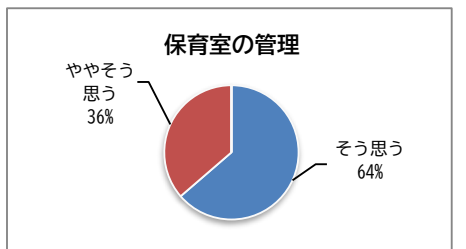


Ⅳ 学級運営

課題 毎日の保育室管理や事務処理を能率よく行う工夫をする。

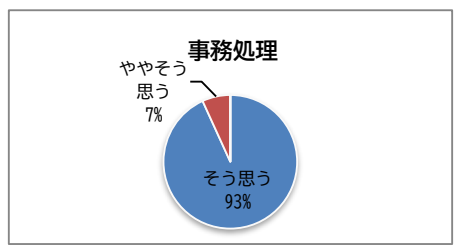
① 保育室の管理

- 保育室内の整理整頓を心がけ、掃除が行き届いている
- 子どもの動線を考え、安全に配慮した環境になっている



② 事務処理

- 出席簿・保育日誌は毎日正確に記入している
- 配布物は決められた期日に配布している
- 連絡帳はすぐに読み、適切に対応している
- 保護者からの提出物、現金など注意深く管理している

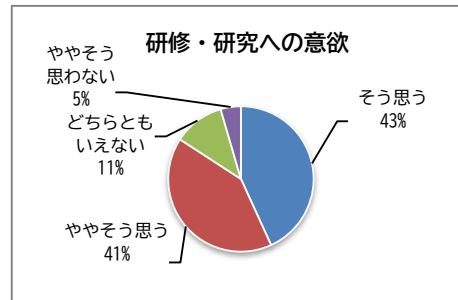


V 保育能力向上

課題 研修会により多く参加するなど、教諭としての研究心を常に持つ。

①研修・研究への意欲

- ・研修会には進んで参加している
- ・保育関連の専門書や専門雑誌を読んでいる
- ・研修会などで習得したことを実際の保育に生かしている
- ・教材研究をしている

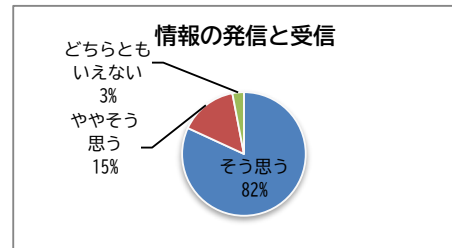


VI 保護者とのコミュニケーション

課題 家庭との連携の重要性をより一層意識し、保護者とともに考えあうという気持ちを持って保護者に接する。

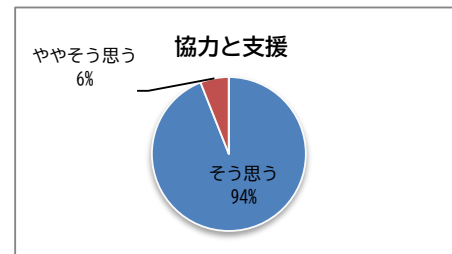
①情報の発信と受信

- ・子どもの変化や出来事、日常の様子をできる限り保護者に伝えている
- ・保護者からの依頼や質問、相談などには適切に対応している
- ・家庭との連携が不可欠であることを認識し、保護者と情報交換をしている



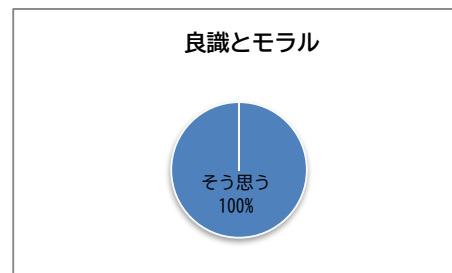
②協力と支援

- ・保護者からの訴え、要望については安易に受けたり断ったりしないで上司に報告相談している
- ・保護者への支援が可能な部分については上司・他の教職員の合意のもとで行っている
- ・保護者の協力が必要な場合は上司と協力のあり方を協議の上で保護者に依頼している



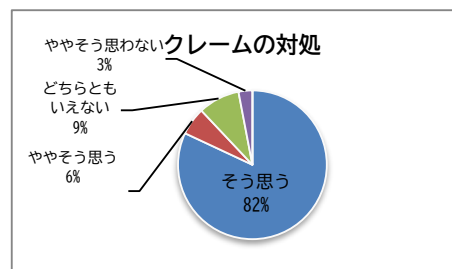
③ 良識とモラル

- ・個々の子どもや保護者、家族の情報は口外していない
- ・保護者との接し方は平等になるよう心がけている
- ・保護者に対して丁寧語で話している
- ・保護者の言葉づかいにこだわらず、話を十分聞いている
- ・園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている



④ クレームの対処

- ・クレームに対して謙虚に話を聞いている
- ・保護者の意を理解し、その上で保護者の納得を得ることができる
- ・必ず上司に相談・報告をしている

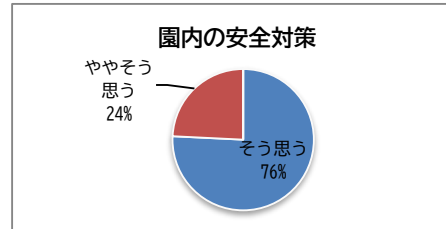


Ⅶ 安全・衛生管理

課 題 安全設備等の研修会を行い、全員が共通理解を持てるようにする。

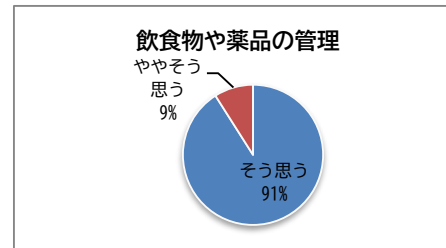
① 園内の安全対策

- ・園内に危険なもの、壊れたものはないか常に観察し発見しだい報告している
- ・園が行っている安全対策について理解している
- ・消化器や非常ブザー、さすまたの位置を把握し、使い方を理解している



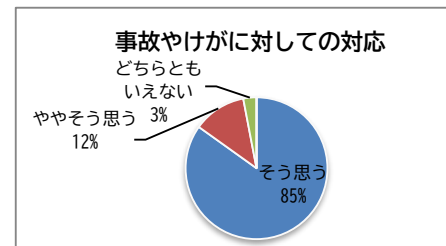
② 飲食物や薬品の管理

- ・飲食物の保管には十分配慮している
- ・救急薬品、清掃用薬品の保管、取扱いには十分配慮している



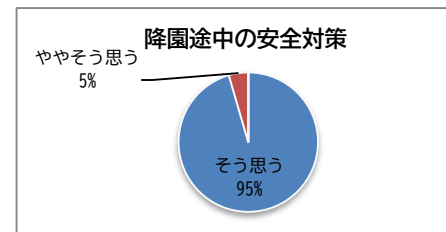
③ 事故やけがに対しての対応

- ・事故やけががあった時は迅速かつ適切に責任を持って対応している
- ・事故やけがの状況や原因を把握し、上司、保護者に報告している
- ・事故やけがについては記録している



④ 降園途中の安全対策

- ・通園バス添乗における安全対策・注意事項を理解し、配慮している
- ・降園時の子どもを確実に保護者に手渡している

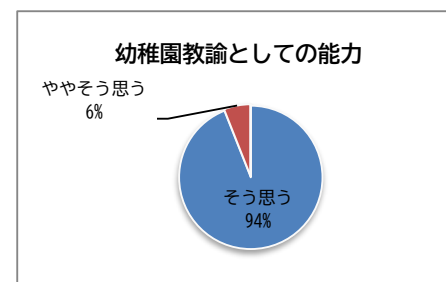


Ⅷ 期待される望ましい保育者像

課 題 より望ましい保育者としての自覚や人間性を高める努力をする。

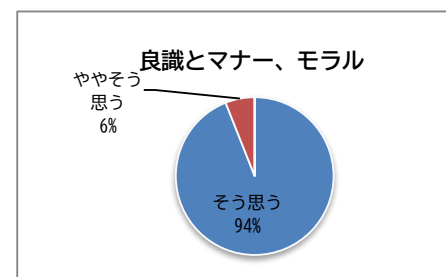
① 幼稚園教諭としての能力

- ・幼稚園教諭としての専門知識や技能を身につけようと努めている
- ・子どもの性格や個性を把握するよう努め、子どもとのコミュニケーションがとれる
- ・仕事の手順をよく考え、仕事の優先順位を見極め能率よく行っている
- ・リーダーシップを発揮し、魅力あるクラスづくりができる
- ・クラス全体の動きを常に把握している



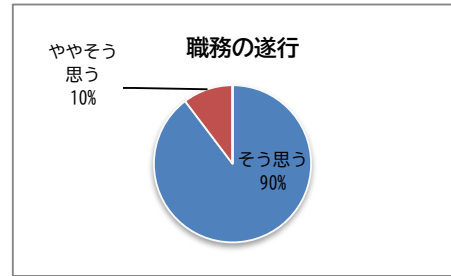
② 良識とマナー、モラル

- ・保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている
- ・その場に適した言動をとることができる
- ・服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている



③ 職務の遂行

- ・園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている
- ・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密は厳守している
- ・重要書類や個人情報にかかわる資料等は確実に保管し、園外に持ち出さない
- ・教材・教具の管理、点検に気を配っている
- ・提出物は期限内に提出している
- ・ミスしたことは必ず上司に報告している
- ・出勤簿はきちんと押印している



④ 組織の一員としてのあり方

- ・教職員全員でひとつのチームであることを意識している
- ・自分の意見と異なる結果になっても決定したことには快く協力、実行している
- ・当番や担当など仕事の分担は責任をもって確実にやっている
- ・上司の指示、命令に従い、責任を持って実行している
- ・教職員のプライバシーや園に関することをみだりに他へ話していない

